

令和7年度デジタルコンテンツ産業振興事業委託業務に係る提案競技審査委員会審査基準

1 業務委託候補者決定方法

契約限度額の範囲内の価格をもって有効かつ審査委員会が評価項目ごとに定めた審査基準をもとに採点した結果、最も得点の高い1者を業務委託候補者とする。

2 審査基準

| | 審査基準項目 | 評価内容 | 配点 | |
|-----------------|----------------|---|-----|----|
| 1. 目的 | ・ 本事業の目的の理解と達成 | ・ 提案者が事業目的を理解し、実際の提案内容に反映されているか。 ・ 提案内容が目的達成に向けて効果的であり、持続的な産業発展に期待できるか。 | 20 | 20 |
| 2. 企画提案の内容 | ・ コミュニティ形成 | ・ 県内の事業者、クリエイター、教育機関などが参加し、持続的に関与しなくなる魅力的な内容であるか。 | 10 | 30 |
| | ・ 広報活動 | ・ ターゲット設定が明確であり、各ターゲット層に対して適切で効果的な内容の発信がなされることが期待できるか。 ・ 事業の広報活動が、企業進出、移住、就職のきっかけを作り出し、地域活性化や人材流入の促進に寄与することが期待できるか。 | 10 | |
| | ・ 次世代人材の発掘 | ・ 次世代人材の確保・育成に向けた具体的な取り組みがなされており、デジタルコンテンツ産業に必要な人材が育成される環境が整備されているか。 ・ 実践的な体験や学びの場が提供されており、参加者が産業への興味や就業意欲を高めるものとなっているか。 | 10 | |
| 3. 県内産業への継続的な効果 | ・ 地域振興と持続可能性 | ・ 提案者が地域のデジタルコンテンツ産業の発展に寄与する創造的かつ実行可能な提案を行っているか。事業終了後も継続的な取組につながられるか。 | 10 | 30 |
| | ・ 創意工夫と独自性 | ・ 提案者が持つネットワークや知見、アセットを活かすなど独自性や創意工夫があるか。 | 10 | |
| | ・ 取組の一貫性と連携 | ・ 各取組（コミュニティ形成、広報、次世代人材育成・発掘）のコンセプトが一貫しているか。それぞれの取組が独立せず連動したものになっているか。 | 10 | |
| 4. 体制 | ・ 実行体制と知見 | ・ 提案内容を確実に履行するための組織体制や連携体制が確立されているか。また、提案者の業務実績とノウハウが実現可能性を示す要素として十分であるか。 | 10 | 10 |
| 5. 経費 | ・ 費用の適正性 | ・ 事業実施に必要なかつ適切な費用が見積もられており、予算内で最大の効果を上げる見込みがあるか。予算配分が詳細かつ透明であるか。 | 10 | 10 |
| 計 | | | 100 | |

3 企画提案の採点

・ 提案書等に記載された内容について、審査基準表により審査を行う。

4 採択基準

・ 審査会での採点結果が6割以上のものを対象とする。